

関西大学独逸文学会記録

(2022年1月～12月)

2022年3月20日、「独逸文学」66を発行した。

2022年度総会および第114回研究発表会

日時：2022年11月20日（日）13時00分～17時30分

場所：関西大学（千里山）岩崎記念館 F401 教室

○総会

- 1) 編集報告
- 2) 会計報告
- 3) 会則変更に関する審議が行われ、第10条を以下のように変更することが了承された。

旧：本学会の事務室は本学文学部ドイツ学専修合同研究室に置く。

新：本学会の事務室は本学文学部ヨーロッパ文化専修合同研究室に置く。

○研究発表会

【研究発表】

1. 小長谷拓（本学文学部ドイツ学専修3年次在学）
『ヒュペーリオン』の執筆時期におけるヘルダーリンの思想形成
2. 戸田佑喜子（本学大学院外国語教育研究科博士前期課程）
色の認識についての意味論的研究——日独の対照比較——
3. 金城ハウプトマン朱美（富山県立大学准教授）
現代における「語り」について——「日常のポエジー」を中心に

【シンポジウム】

考動力を育成するドイツ語教育を探る——関西大学におけるドイツ語教育の充実を目指して

司会：高橋秀彰（本学教授）

(1) 嶋田宏司（関西大学非常勤講師）

ドイツ語をひとつの「言語」として伝える

(2) 永井達夫（関西大学非常勤講師）

Landeskunde のある授業

(3) 齊藤公輔（中京大学准教授）

動画課題とルーブリック評価——教員と学習者双方にゆとりある活動を目指して

(4) 大前智美（大阪大学准教授）

ICTを活用したドイツ語授業における「自律学習」と「協働学習」

関西大学独逸文学会 2021 年度会計報告

(2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,042,784	『独逸文学』65号印刷費	311,300
		振り込み手数料	440
		64号 郵送料	28,802
学会費	227,000	通信費	2,758
会 員		『学びの扉』冊子印刷費	67,650
(専任教員3、一般会員34、大学院生2)		振り込み手数料	440
記念論文刊行補助金	278,000	文具	1,348
		アルバイト代	60,000
阪神ドイツ文学会補助金	34,600		
預金利息	14	計	472,738
		次年度繰越金*	3,109,660
合計	3,582,398	合計	3,582,398

(単位：円)

*内 訳

りそな銀行	1,722,296
郵便局	1,327,897
現金	59,467
合計残高	3,109,660